

平成20年度 第17回建築作品 優秀賞 SU建築設計（新潟市）

青い鳥保育園



築立ちの場

青い鳥保育園は、旧園舎の老朽化に伴い建て替えられた建築である。もともとの園舎は敷地のど真ん中に東西に延びた形で配置されており、オープンスペースが南北に分断された形となっていた。

そのため建て替え計画では、建物を北側に配置し、南側にまとめた大きなオープンスペースをつくるという自然な流れの中、さらに北東の突出した敷地スペースが無駄にならないよう考えを進めた。それらの諸条件の中で生み出された建物形状は、遊戯室を中心に据え、そこから未満児棟と以上児棟が伸びる形に決定された。これにより、未満児にはそれに合ったスケールの中庭（建物形状の検討によって生まれた隙間）、以上児には南側の広い園庭と繋がる、それぞれ内と外が一体となり、南側自然採光を考慮した明るい園舎を創出している。

メインアプローチのある南側ファサードは、既存樹木と建物との調和を考慮し、スカイラインを低く設定しガラスを用いて、鳥が翼を広げた姿を喚起させる、伸びやかな透明なデザインとしている。また、屋根上にはソーラーシステムを配し、園児が地球環境に気づく時の記憶となるよう配慮している。

青い鳥保育園から巣立っていく子ども達にとって、楽しい思い出となる明るい園舎であることを願っている。

